

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 2月 10日

住 所 埼玉県さいたま市中央区本町西4-11-10

県内企業等の名称 株式会社クワバラ・パンパキン

代表者役職 氏名 代表取締役 桑原 幹夫

株式会社クワバラ・パンパキンはSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「価値ある未来と環境を創造する」を基本とし、経営方針である「顧客へ価値ある未来を」「社会へよりよい環境を」「社員へやりがいと幸せを」を目的としています。循環型社会を目指す企業として、当社の経営理念そのものが持続可能な開発目標(SDGs)の考え方に通じており、社員一人ひとりが事業活動と社会貢献活動に取り組むことで、自分の仕事がSDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー自給率向上のために、石油・石炭等の化石燃料に依存せず、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素も排出しない、環境にやさしいクリーンエネルギーである【太陽光発電】を導入。 <2020年の数値> 売却電力量 20,000kWh	<2030年に向けた指標> 売却電力量 60,000kWh <取組開始3年後に向けた指標> 売却電力量 40,000kWh
社会	社会貢献活動の推進 <2020年の数値> ・彩の国ロードサポート活動:年4回・延べ100人参加	<2030年に向けた指標> ・彩の国ロードサポート活動:年6回・延べ150人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ・彩の国ロードサポート活動:年5回・延べ125人参加
経済	住宅の解体材や樹木剪定枝などの木くずを木質チップ化し、化石燃料に代わる木質バイオマスエネルギー源として燃料化・再生。二酸化炭素の排出抑制、地球温暖化防止、循環型社会の形成に寄与。 <2020年の数値> 木質チップ販売処分量 33,000t	<2030年に向けた指標> 木質チップ販売処分量 60,000t <取組開始3年後に向けた指標> 木質チップ販売処分量 50,000t

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。